

第3回はまなか環境とってもいいんかい

魚からかんがえよう 森川湿原海をつなぐ 町の未来

対象：町民の皆様
参加費無料・要申込



浜中の豊かな自然、生態系によって成り立つ酪農業、漁業との関係を大地と海をつなぐ川の重要な役割や変化に注目しながら、ご参加の皆様方と川の未来について考える機会にしたいと思います。

11月11日[火]

13:00-15:40 (開場 12:30)

会場：霧多布湿原センター
2階会議室

主催：NPO法人シマフクロウ・エイド
共催：浜中町／浜中漁業協同組合／散布漁業協同組合／浜中町農業協同組合

主役は川と海を行き来する「豊かな森と海を創る川の生物の頂点」のサケ科魚類です。

町内小学校の子どもたちには昨年からの「森と海のつながりを考える学習」を開始しました。

その目的は森と海を往き来する魚の役割と自然のつながりを学び、郷土の川に愛と興味を持ってもらうことです。自然体験を通じて子どもたちが郷土愛を育み浜中町を大好きになることこそ、地域の課題とその解決の糸口につながると信じて止みません。

基調講演では、森に栄養をもたらす川の生物の頂点の魚類が地域の生態系にもたらすサービス（恩恵）や、河川生態系のあるべき姿について話題提供をいただく予定です。

ぜひ大人の私たちも、川と海を行き来する魚たちをつうじて、町の一次産業を支える生態系の修復方法を知り、子どもたちと豊かな自然環境を残していきたいませんか。

基調講演



帰山雅秀氏

北海道大学名誉教授／北海道大学北極域研究センター
日本におけるサケ科魚類研究の草分け的存在。

＊サケ属魚類が海に起源を持つ物質を産卵遡上を通じて運搬することで、陸域生態系を豊かにする物質循環のメカニズムを初めて解明されました。

プログラム

- 13:00 あいさつ：浜中町長ほか
- 13:10 基調講演：帰山雅秀氏
講演テーマ「私たちがサケから学ぶこと次代に地域の生態系を残すには」
- 14:00 令和7年 魚貝類調査報告：菅野直子
- 14:15 パネルディスカッション：「テーマ：酪農業（大地）と漁業（海）をつなぐ川の未来」
- 15:00 参加者同士の意見交換会

参加申込・
問い合わせ

NPO法人シマフクロウ・エイド ※11月9日迄に氏名、参加人数をお知らせください。
TEL:0153-65-2183 Email:office@fishowlaid.jp 担当：菅野 すがの